

みずほCustomer Desk Report 2022/09/22 号 (As of 2022/09/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	143.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	143.57	0.9972	143.22	1.1380	0.6695
SYD-NY High	144.70	0.9974	143.55	1.1384	0.6705
SYD-NY Low	143.35	0.9810	141.67	1.1237	0.6622
NY 5:00 PM	144.11	0.9838	141.81	1.1270	0.6633

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,183.78	▲ 522.45	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	11,220.19	▲ 204.86	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,789.93	▲ 66.00	米国2年債	4.0570%	0.0874%
日経平均	27,313.13	▲ 375.29	米国5年債	3.7671%	0.0172%
TOPIX	1,920.80	▲ 26.47	米国10年債	3.5328%	▲0.0341%
シカゴ日経先物	27,025.00	▲ 220.00	独10年債	1.8890%	▲0.0465%
ロンドンFT	7,237.64	44.98	英10年債	3.3095%	0.0200%
DAX	12,767.15	96.32	豪10年債	3.7440%	0.0900%
ハンセン指数	18,444.62	▲ 336.80	USDJPY 1M Vol	12.76%	▲0.25%
上海総合	3,117.18	▲ 5.23	USDJPY 3M Vol	12.70%	0.27%
NY金	1,675.70	4.60	USDJPY 6M Vol	11.85%	0.17%
WTI	82.94	▲ 1.00	USDJPY 1M 25RR	▲1.18%	Yen Call Over
CRB指数	278.23	▲ 1.31	EURJPY 3M Vol	13.29%	0.43%
ドルインデックス	110.64	0.43	EURJPY 6M Vol	12.82%	0.31%

東京	東京時間は143.57レベルでオープン。FOMCの結果発表を控え米金利が高止まりする中、ドル円は下値を切り上げながら144.08まで上昇。東京株式市場終了後にロシアによる部分動員開始についてのニュースが伝わるとドル円は急落し、143.67レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円はFRBによる利上げ期待から上昇した。143.67レベルでオープン。FOMCにてインフレ抑制のため0.75%の利上げを実施し、FRB議長の会見や政策金利見通しは効的になるという一部の市場予想からドル買いが先行、高値144.20を付けた。上値を探りながら144.09レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場でプーチン大統領が軍の部分動員令に署名したとのヘッドラインからリスク回避の円買いが強まり、143.35までドル円は下落するが、FOMC結果発表を控えドルが買われる展開に、144.09レベルでNYオープン。朝方は144円ちょうど付近での推移が続くが、米金利が上昇する展開にドルは144.40まで戻す。FOMC結果発表を目前に控え、米金利が一旦落ち着く動きにドル円も144.08まで反落するが、メンバーの今年の金利予想中央値が4.375%、来々が4.625%と前回6月から大きく上方修正され、市場では来年は4.375%付近になるとの見方が多かったこともあり、効派との見方から米2年債金利が4.11%まで上昇する展開に、ドル円も144.70まで上昇する。しかし、2年後の24年のFedの金利見通しが3.875%であったことから、債券市場で買いが持ち込まれ米2年債金利が3.98%を割り込む展開にドル売りが強まり、ドル円は143.41まで下落する。パウエル議長の記者会見ではセッション入りする可能性の言及は避けられ、「労働市場は需給のバランスが戻ってきているようだ」「今は抑制的な領域のまさに最低水準にある」等、強弱混在の内容となった。記者会見終了後に再び金利が上昇する展開にドル円は144.05まで戻し、144.11レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが強まり、0.9885まで下落し、0.9902レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、徐々にドルが買われる展開に0.9867まで下落する。午後はFOMC結果を受けドルが一旦買われたことから0.9810まで下落するが、米金利が低下する局面ではユーロドルは0.9910まで戻す。その後はイベント通過から再び米金利が上昇する展開に0.9837まで戻し0.9838レベルでクロスした。

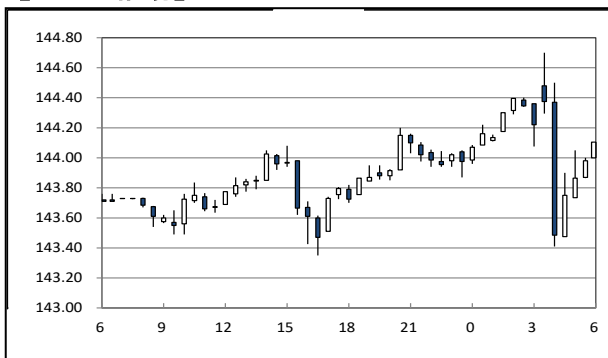
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月21日	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 4.80m	4.70m
9月22日	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	21-Sep 3.25%	3.25%
9月22日	03:00	米 FOMC政策金利(下限)	21-Sep 3.00%	3.00%
9月22日	03:30	米 パウエル議長講演	「PAINなくしてはインフレ抑制はできず」	

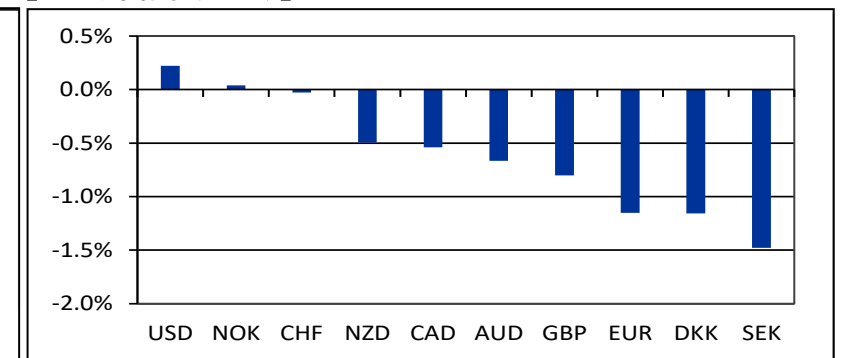
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月22日		日 日銀 金融政策決定会合	22-Sep -0.10%	-0.10%
9月22日	16:30	瑞 スイス国立銀行 政策金利	22-Sep 0.50%	-0.25%
9月22日	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	22-Sep 2.25%	1.75%
9月22日	21:30	米 新規失業保険申請件数	17-Sep 217k	213k
9月22日	23:00	欧 消費者信頼感・速報	9月 -25.5	-24.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-145.00	0.9750-1.0050	140.00-145.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上に行つてこいの展開。東京時間143.57でオープンし、FOMCの結果発表を控え米金利が高止まりする中、ドル円は143円台後半で推移。東京時間終盤にロシアによる部分動員開始についてのニュースが伝わるとドル円は急落し、ロンドン時間に一時143.35まで下落するも、その後反発。注目のFOMCでは予想通り75bp利上げ実施され、また今年の金利予想中央値が4.4%、来々が4.6%と前回6月から大きく上方修正されたことを受けて、タカ派との見方から米2年債金利が4.11%まで上昇する展開に、ドル円も144.70まで上昇。しかし、2年後の24年のFedの金利見通しが3.9%であったことから、債券市場で買いが持ち込まれ米2年債金利が3.98%を割り込む展開にドル売りが強まり、ドル円は反落となり、結局144.11でクローズした。本日のドル円は底堅い展開を予想する。日銀金融決定会合、黒田総裁の会見が予定されているが、金融緩和スタンスの維持が見込まれており、特段のサプライズがなければドル円は引き続き堅調推移となろう。一方で、日本当局による円安けん制への思惑や、ウクライナ関連の地政学リスクによるドル円の下押しリスクには引き続き留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・大橋